



Go Nomadic
大自然と
遊牧民の国

モンゴル観光パンフレット

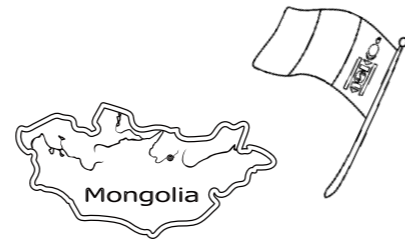


モンゴル国

中国とロシアに隣接し、広大な大地と遊牧民文化を有する国家。
2021年7月には「チンギスハーン国際空港」を新たに開港。
観光業の発展や経済成長への貢献が期待される。



モンゴル国概要



基本データ



人口
約330万人
(2020年)



面積
156.4万km²
(日本の約4倍)



国内総生産
130億米ドル



一人あたりGDP
4167米ドル
(2020年)



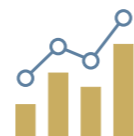
外国直接投資額
296億米ドル
(1996-2020年)



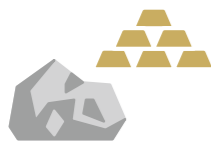
GDP成長率
5.1%
(2021年予想)



輸出 76億米ドル
輸入 53億米ドル
(2020年)



インフレ率
2.3%
(2020年)



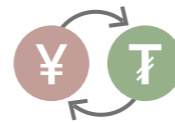
主な輸出品
褐炭・銅鉱石・
金 など



主な輸入品
石油・車両・
機械・部品 など



日本との
経済連携協定締結
(2016年)



通貨単位
トゥグリク
1円 ≒ 26トゥグリク
(2021年6月現在)

略 史

- 1911年 中国(清朝)から分離、自治政府を樹立
- 1921年 中国からの独立を宣言
- 1924年 モンゴル人民共和国を樹立
- 1972年 日本と外交関係を樹立
- 1990年 複数政党制を導入、社会主義を放棄
- 1992年 憲法を施行、国名をモンゴル国に変更



モンゴル国の国旗

伝統文化

民族の祭典「ナーダム」

競馬



ナーダム祭開会式



モンゴル相撲

弓矢(フム・ソム)

世界無形文化財「馬頭琴」「ホーミー」



伝統民族料理「ボードグ」



新国際空港



ウランバートルの南西50km、フシギーン・フンディに位置する。モンゴルの経済成長に伴い、国際線を中心とした航空需要の増加に対応するため2021年7月4日に開港。



スフバートル広場と儀仗兵



チンギス・ハーン像



オペラハウス

ウランバートル

ウランバートルはモンゴルの中央部、標高1300メートルの高さに位置するモンゴルの政治・経済・社会的な中心地。ボグドハン山、ソングノハイルハン山、チンゲルテイ山、バヤンズルフ山という4つの山々に囲まれている。



チョイジンラマ寺院博物館



ボグドハーン宮殿博物館

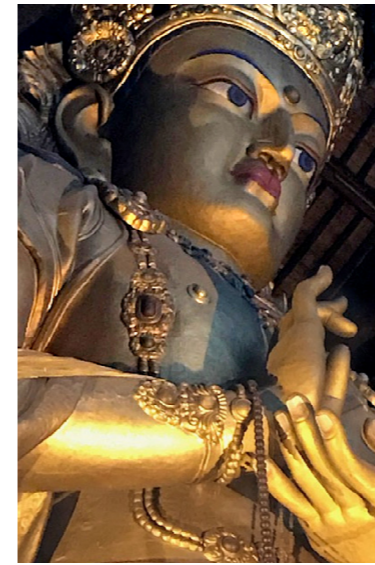
ザイサンの丘



ウランバートル



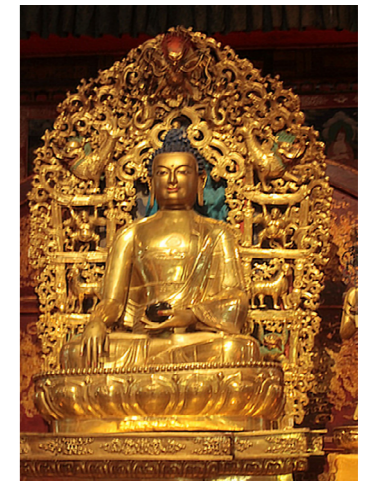
日本人抑留中死亡者慰霊碑



ガンダン・テクチェリン寺



ザナバザル美術館



初代活仏・仏師ザナバザル作の仏像



ウランバートルMAP

3泊4日 短期滞在者向けプラン



1日目 ウランバートル着

2日目 ウランバートル市内見学

スフバートル広場、国立歴史博物館、ザナバザル美術館、ザイサンの丘、テレルジ等近郊のゲルに宿泊

3日目 モンゴル文化体験

ミニナーダム見学、自然探索、花めぐり、乗馬体験、民族音楽鑑賞
午後はウランバートルでショッピング
夕食はモンゴル料理、ウランバートルのホテルに宿泊

4日目 ウランバートル発

ウムヌゴビ



ウムヌゴビ県のダランザドガドまでは
空路1時間、陸路8時間。
陸路は大平原を通過し、途中ラクダなどの
放し飼いをすることができる。



ホンゴル砂丘

ハゲワシ



野生羊



アルタイセッケイ



バヤンザグ





ヘルメンツァブ

ウムヌゴビ

冬のラクダ祭



オオヤマネコ



マヌルネコ



恐竜の足跡化石

5泊6日

ウランバートル & ホンゴルゴビ



1日目 ウランバートル着

2日目 ウランバートル市内見学

ザナバザル美術館、ガンダン寺、ザイサンの丘、日本人墓地跡、民族音楽鑑賞
昼食はモンゴル料理専門店、夕食は日本料理

3日目 ダランザドガドへ移動（飛行機）

昼食後、ホンゴルゴビへ 夕食は音楽を楽しみながら民族料理、キャンプ場に宿泊

4日目 ホンゴルゴビ大砂漠

乗馬、ラクダ体験 恐竜の卵の化石のあるバヤンザグへ移動、ゲルキャンプに宿泊

5日目 ウランバートルへ移動（飛行機）

ウランバートル帰後、市内でショッピング 夕食は火鍋

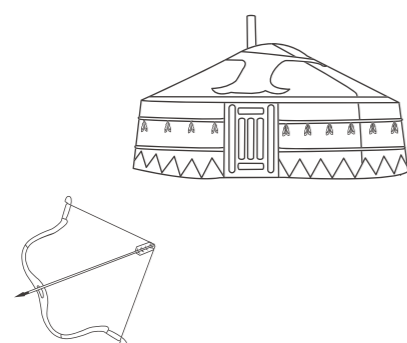
6日目 ウランバートル発

ウムヌゴビMAP

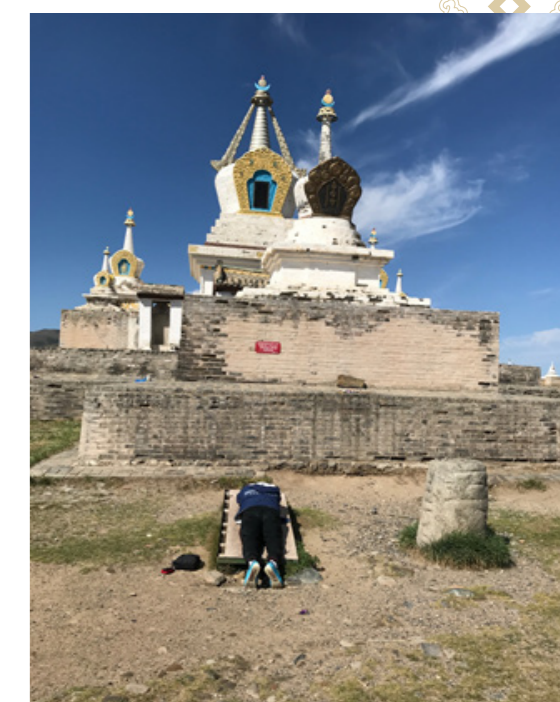


アルハンガイ/ ウブルハンガイ

モンゴル帝国初期の
首都として栄えたハラホリンや
歴史的な遺跡や世界文化遺産に
選定された絶景を見ることができる。



エルデネゾー寺院



ツェンヘル温泉



ハラホリン博物館



アルハンガイ / ウブルハンガイ



ハルバルガス遺跡



アルハンガイの大地

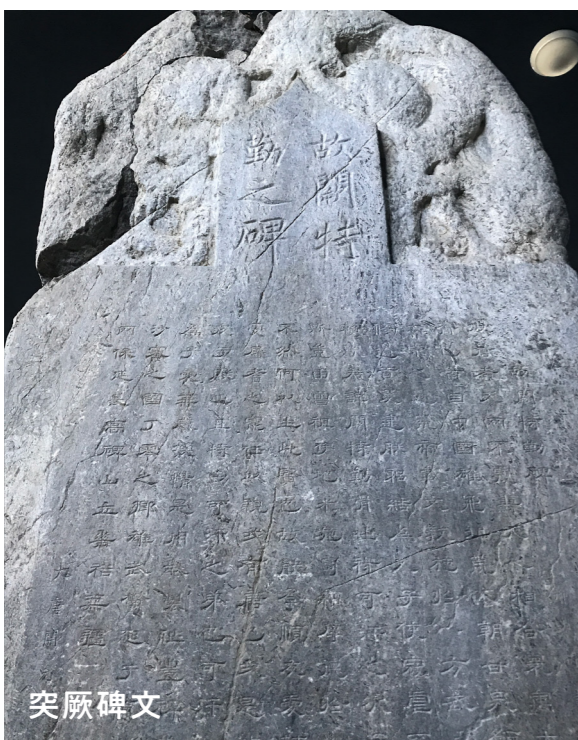
鹿石



石人像



アルハンガイ /
ウブルハンガイ



突厥碑文

ホショーツアイダム博物館



5泊6日

ウランバートル & ハラホリンプラン

1日目 ウランバートル着

2日目 ウランバートル市内見学

ザナバザル美術館、ガンダン寺、ザイサンの丘、日本人墓地跡、民族音楽鑑賞
昼食はモンゴル料理専門店、夕食はモンゴル料理

3日目 モンゴル文化体験

モンゴルノマディック観光キャンプ、タヒ馬の原種
昼食はホヨルザガル、砂丘とラクダ、牧民家庭訪問 ハラホリンへ移動、ゲルに宿泊

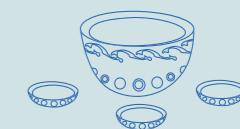
4日目 ハラホリン観光

ハラホリン博物館、エルデネゾー寺院（旧都跡）、ゲルで昼食、突厥碑文、
ウギー湖 ゲルキャンプに宿泊

5日目 ホショーツアイダム遺跡見学

ホショーツアイダム遺跡見学後、牧民宅を訪問
午後はウランバートル市内でショッピング 夕食は火鍋

6日目 ウランバートル発



アルハンガイ/ウブルハンガイ MAP





ドルノゴビ

南東部に位置し中国と国境を接している。
モンゴル最大のパワースポットや砂漠、野生の動物の宝庫の
自然保護区が点在している未開拓の観光地。



ハマリン・ヒード僧院



ウルギー僧院旧跡



ウブゲン・ソバラガ仏塔



エネルギー・センター



イフ・ナルティン・チョロー自然保護区



ザギーン・オス



エルゲリーン・ゾー



ブルデネ・ボラグ



スイヘントの珪化木保護区



チョイリーン・ボグド山



ゴビ・バガ特別保護区の野生動物

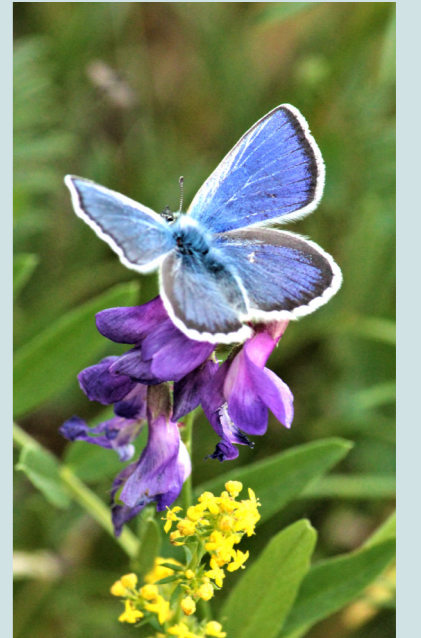
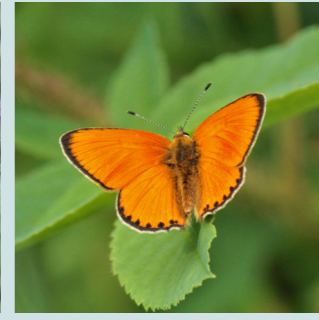
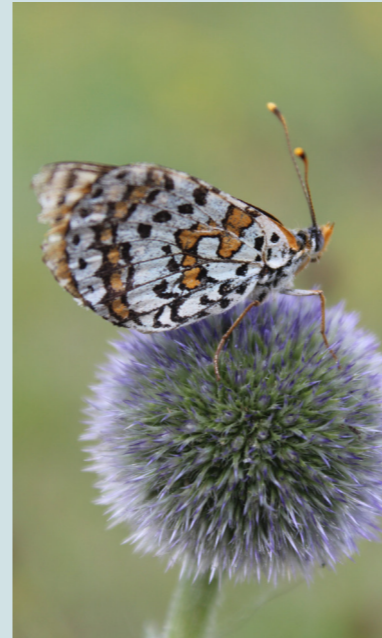


興味別おすすめプラン

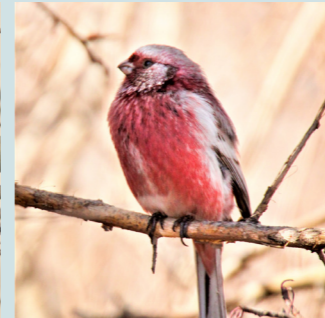


高山植物を見る旅

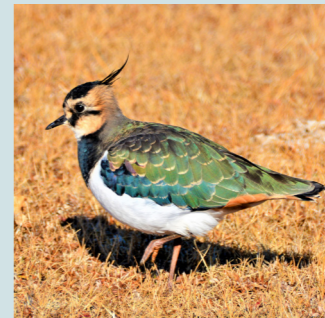
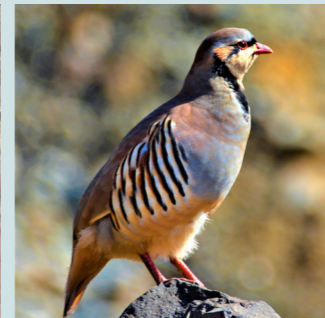
フィッシングの旅



蝶を見る旅



野鳥観察の旅



日本の各自治体との交流（実績と展望）

姉妹・友好提携自治体との交流

日本とモンゴルの間では多くの自治体交流が行われている。
モンゴル国出身の職員や国際交流員(CIR:Coordinator for International Relations)が活躍している自治体があり、現在もコロナ禍で可能な交流事業を行っている。

姉妹・友好提携自治体と交流締結年/月 (2021年2月現在)

日本の自治体	モンゴルの自治体	交流締結年/月
長崎県松浦市	ウブルハンガイ県ホジルト市（中断中）	1991/7
兵庫県豊岡市	バヤンホンゴル県ボグド郡（現在停止）	1994/10
鳥取県	トゥブ（中央）県	1997/7
宮崎県都城市	ウランバートル市	1999/11
長野県佐久市	ウランバートル市スフバートル区	2008/8
静岡県	ドルノゴビ県、セレンゲ県	2011/7
大阪府泉佐野市	トゥブ県	2013/7
静岡県伊豆の国市	ウランバートル市ソングノハイルハン区	2015/8
新潟県弥彦村	トゥブ県エルデネ村	2016/8
静岡県焼津市	ウランバートル市チンゲルテイ区	2018/8
北海道滝川市	ウブルハンガイ県	2018/9
東京都武蔵村山市	ウランバートル市ハンオール区（予定）	2021年度中に締結予定

姉妹・友好提携自治体では、代表団・市民の相互訪問、文化交流、研修受け入れ、専門家派遣、物資の提供、企業交流など、様々な事業が行われており、多くの自治体が見童・青少年（中学生・高校生を含む）訪問交流を継続的に実施している。

海外研修・友好交流事業に参加した子どもたちの報告・感想文によると、「この貴重な体験を忘れずに日々過ごしていきたい」、「モンゴルから日本を見る国際的な視野を持つということを経験する事ができ、モンゴルに行くことができ本当に良かった」など、子どもたちにとっても強い印象を与えている。

両国政府は2022年の外交関係樹立50周年を、「青少年交流推進年」とすることに合意。子どもたちの交流が将来、「海外修学旅行」などの形で観光振興に資することが期待される。



ホストタウン

ホストタウンとは、日本の自治体と「東京オリンピック・パラリンピック2020」に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などの多様な分野で交流することを通じて、地域の活性化等に活かし、大会終了後も、永い交流を実現することを目的とした取組である。



ホストタウン自治体一覧表 (2021年2月現在)

自治体名	競技名	登録年	きっかけ
青森県今別町	フェンシング	2016	フェンシングの町として誘致
茨城県桜川市	射撃	2017	射撃コーチが市民
茨城県城里町	空手	2018	モンゴル支援NPOの活動
茨城県行方市	重量挙げ	2019	個人がモンゴルオリンピック委員会の要望を仲介
東京都武蔵村山市	相撲交流	2017	大使館の紹介
新潟県、新潟市・燕市・五泉市・長岡市・弥彦村	パラアーチェリー	2016	新潟県の紹介、大学間や民間レベル、モンゴル人力士との交流
静岡県伊豆の国市	柔道、パラ競技	2016	総領事の紹介
静岡県焼津市	レスリング、パラ陸上、3x3バスケットボール、パラテコンドー	2016	県の誘致活動、レスリングが盛んな市
静岡県島田市	ボクシング	2017	市民団体の交流
愛知県岡崎市	アーチェリー	2019	大学や親善協会が仲介
大阪府泉佐野市	陸上競技(マラソン)	2017	友好都市提携を発展
大分県宇佐市	テコンドー	2018	相撲力士との交流
宮崎県都城市	レスリング	2016	民間団体の交流

モンゴルにおけるビジネス展開相談窓口

1 モンゴル・日本人材開発センター



<https://mongol-japan-center.tumblr.com/>

2 日本貿易振興機構（ジェトロ）



<https://www.jetro.go.jp/worldtop/asia/mn/fdi/>

3 モンゴル国商工会議所・日本



<https://www.mncij.org/>

4 モンゴル日本商工会



<http://www.jbcm.mn/>

有用な情報ソース（ウェブサイト情報や連絡先等）

1 外務省（日本）



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mongolia/index.html>

2 モンゴルビジネス環境ガイド 2020 年版



https://www.jica.go.jp/mongolia/office/activities/environment_guide/index.html

3 JICA 海外の現地情報



https://www.jica.go.jp/priv_partner/case/field/index.html#toushi

4 日本貿易振興機構（ジェトロ）



<https://www.jetro.go.jp/world/asia/mn>

5 外務省（モンゴル）



<http://mfa.gov.mn/en/>

6 駐日モンゴル国大使館



<https://tokyo.embassy.mn/jpn/>

7 MIAT モンゴル航空



<http://miat-air.jp/>

【本パンフレットに係る問合せ先】

独立行政法人国際協力機構 東・中央アジア部 東アジア課
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
電話番号：03-5226-6683 e-mail：g-3rtea@jica.go.jp

無断複製はご遠慮ください。